

## 執筆者一覧（掲載順）

沼澤 秀雄	コミュニティ福祉学会運営委員長 / コミュニティ福祉学部学部長
大木 彩	NPO 法人早川エコファーム / スポーツウエルネス学科 2015 年卒業
坂田 拓朗	株式会社クレディセゾン / コミュニティ福祉学科 2002 年卒業 / まなびあい運営委員
榑府 憲太	ふじみ野市役所 / コミュニティ福祉学科 2005 年卒業
松井 あや	アサヒビール株式会社 / スポーツウエルネス学科 2015 年卒業
加藤 祥太	株式会社学研ココファン / 福祉学科 2016 年卒業
高間 早葵	新座市役所 / 福祉学科 2014 年卒業
新谷 健介	株式会社星野リゾート / コミュニティ福祉学研究科博士課程前期課程 2013 年修了
小林 愛美	荒川区役所 / コミュニティ政策学科 2010 年卒業
長倉 真寿美	福祉学科教授
鍛冶 智子	コミュニティ福祉学研究科博士課程後期課程 2020 年修了 / まなびあい運営委員
竹内 悟	コミュニティ福祉学研究科博士課程前期課程 2019 年修了 / まなびあい運営委員
三宅 雄大	福祉学科助教
木下 武徳	コミュニティ政策学科教授
権 安理	コミュニティ福祉学会事務局長 / コミュニティ政策学科准教授
大橋 理美	社会福祉法人滝乃川学園 / 福祉学科 2020 年卒業
富田 文子	埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科助教 / 元福祉学科教員
西郷 民紗	株式会社 HITOTOWA HITOTOWA こども総研 / コミュニティ福祉学科 2007 年卒業
佐藤 祥子	株式会社 HITOTOWA HITOTOWA こども総研
村本 宗太郎	常葉大学教育学部生涯学習学科教員 / コミュニティ福祉学研究科博士課程後期課程 2018 年修了
跡部 千慧	コミュニティ政策学科助教
奇二 正彦	スポーツウエルネス学科特任准教授
後関 慎司	スポーツウエルネス学科特任准教授
平井 太規	コミュニティ政策学科助教
丸山 晃	福祉学科特任准教授
木下 一雄	長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科専任講師 / コミュニティ福祉学科 2004 年卒業
浅井 春夫	立教大学名誉教授
西村 鈴	コミュニティ政策学科 4 年
相原 耕平	コミュニティ福祉学科 2003 年卒業
島田 将太	コミュニティ福祉学科 2005 年卒業
河東 仁	立教大学名誉教授 / 元コミュニティ政策学科教員
斉藤 知洋	元コミュニティ政策学科教員
三本松 政之	立教大学名誉教授 / 元コミュニティ政策学科教員
中村 大輔	元スポーツウエルネス学科教員
大冢 賀 政昭	コミュニティ福祉学科 2004 年卒業 / まなびあい運営委員
鈴木 瑠偉	立教大学教務部教務事務センター職員 / コミュニティ福祉学研究科博士課程前期課程 2020 年修了
伊勢川 眞由	コミュニティ政策学科 2020 年卒業
富吉 貴浩	コミュニティ福祉学科 2003 年卒業
大塚 光太郎	コミュニティ政策学科 2011 年卒業 / コミュニティ福祉学研究科博士課程前期課程 2013 年修了

---

## 立教大学コミュニティ福祉学会

### 編集委員会

石井 秀幸（編集委員長） 山口 綾乃（副編集委員長） 岡 桃子（副編集委員長） 三宅 雄大  
大冢 賀 政昭

### 事務局

権 安理（事務局長） 大野 有加（事務局） 海老原 絵梨子（事務局）

## ■ 編集後記 ■

●今号では、先生方、卒業生、学生の皆さまから多くの作品を投稿していただき、心より感謝申し上げます。拝読すると、コミ福らしく内容が非常に多様であることは従来同様ですが、新型コロナウイルス感染症が仕事や生活に及ぼした影響について記載された作品がみられることが今号の特徴の一つだと思います。いずれの作品も執筆者の思いが伝わってくるものですので、ぜひ多くの方にお読みいただければ幸いです。  
(編集委員長 石井 秀幸)

●『まなびあい』第13号を最後までご覧いただき、有難うございます。今年は自然災害やコロナウイルスによる影響での活動の自粛など心労が絶えませんでした。オンライン授業となってみて初めて人と繋がる大切さ(コミュニケーションの重要性)を感じている日々です。来年度は学生たちが元気に大学に通えるよう祈るばかりです。最後にまなびあい発行にあたり、ご協力いただいた全ての皆様に編集委員会一同心から感謝致します。  
(副編集委員長 山口 綾乃)

●初めて編集委員に携わらせていただきましたが、皆様の活動と表現する力に触れ感動いたしました。私事ですが、一期生であり、今年コミ福を退職することになりました。授業紹介で取り上げてくださったことは、節目を記録に残すありがたい機会となりました。「まなびあい」の場があることが、大好きな母校を巣立ち寂しさでいっぱい私の私をこれからも励ましてくれることは間違いなく、継続を支えてこられてきた皆様に感謝いたします。  
(副編集委員長 岡 桃子)

●編集後記を執筆している現在、COVID-19の影響によって、これまで「当たり前」とされてきた生き方が攪乱され、他者と関わるあらゆる活動(労働、学習、遊び、会食等々)が制限されています。他方で、(昨年に続き編集に携わらせて頂いている)この「まなびあい」という媒体は、コロナ禍においても変わることなく発刊されます。この「変わらなさ」は、参加者が共時・共在を強いられることなく学ぶことのできる媒体(冊子/データ)の強みだと思います。この「まなびあい」という媒体が、これまで以上に多くの多様な人たちの学びにつながることを期待しております。  
(編集委員 三宅 雄大)

●コロナ禍の影響で産み出された新しい生活様式の恩恵をうけ、再度「まなびあい」にかかわるきっかけを頂きました。編集委員としての活動を通して、コミ福の今に触れることができました。コミ福をまなんだ(でいる)人たちとの「まなびあい」の活動が「まなびあい」らしく、今後も続いていくよう願っております。  
(編集委員 大野賀 政昭)

## 立教大学コミュニティ福祉学会『まなびあい』第13号

2020年10月30日発行

発行者 沼澤 秀雄

編集者 石井 秀幸

発行所 立教大学コミュニティ福祉学会運営委員会事務局

〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26

TEL. 048-471-7308

印刷所 東銀座印刷出版株式会社